

総会開く

中部塗り替え研究会

ともに影響し合う



中部塗り替え研究会
(田中茂会長)は、8日午

後1時から大阪市淀川区

「広く社会に伝える」に賛同する若い世代が中部圏はもとより関東からも多数集まった。

あいさつに立った田中

会長は「午前中は、個人では力タロクなどではか
知ることができなかった
工場や研究室、また耐候
性試験の見学を会を通じ
て行うことができ、改め
て塗り研であることの強
みを実感した。」

会には中部エリアを越えて関東からも人があ

り、塗り研の目的である「塗り替えを深く研究し、



水谷ペイントの水谷成彦社長（前列右から4人目）をはじめ功労者に感謝状等が贈られた

り、また静岡の会員も増えた。メンバーが増える
と雰囲気も変わり、ます
ます切磋琢磨し合える良
い環境になっている。

これから10年、会社を
存続させていくには非常
に苦労やリスクが多いと
思いますが、ともに影響し合
える仲間として、この不

景気な経済状況の中を乗り切っていく」と述べた。写真。

事業報告、会計・監査報告、予算案など議案事項はすべて承認され、今年度の事業として、塗り替え工事におけるリスク軽減と売り上げアップにつなげていくため、最新塗料についての研修、失敗事例の共有化、耐候性試験の経過などから独自のノウハウ蓄積に取り組む。

また、中学生に塗装を体験してもらう塗装ボランティアを通じ、塗り替えを広報することや、ホームページの開設やメール会員制度を設け、毎月例会の案内や結果

報告を発信することにより活動を広く知ってもらう。さらに、毎月開かれる例会への参加やボランティア塗装への参加実績による優良施工店規定などを設ける。

そのほか、例会参加者動賞、「日々進化する塗料の技術を前向きにとらえ、塗り替え工事について深く研究し、広く社会に伝える地域塗装店」としての塗り研会員認定書

の授与式、また同会の理念に賛同し、ボランティア塗装において2年続けてナノコンボジットを提携した水谷ペイントや塗料販売店として会の活動をバックアップしたクニシマに感謝状贈呈が行われた。

最後に「自分たちの手で新しい時代を切り開いていく」と力強く宣言し、閉会した。

なお、本総会に先駆け、水谷ペイント社長・水谷成彦氏による同社の企業理念や環境への取り組みの話があり、その後同社工場見学会、また「塗料の役割と組成/塗料の化学的見地」や同社新製品である最上クラスの耐候性を備えた屋根用塗料水系ナノシリコン、ナノ塗料ナノコンボジットWについて、同社技術部による塗料説明会が行われた。